

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

○令和6年度 第1回「健笑庵いくま」運営推進会議

対象事業者名：(有) ケアサポートことぶき「健笑庵いくま」

サービス種類：地域密着型通所介護事業所

開催日時：令和6年5月24日(金) 午後2時30分

開催場所：健笑庵いくま

出席者：8名 《内訳》

事業所(担当者)	3名	利用者	1名
利用者家族	1名	地域代表者	1名
包括支援センター	1名	知見を有する者	1名

【議事・議題】

1. 活動状況

1) 利用状況(令和6年4月現在)

①登録者数：14名(うち男性1名、女性13名)

②介護度別利用者数(サービス区分、介護度別の状況)

総合事業通所サービス	該当者	1名	地域密着型通所介護事業	要介護1	1名
	要支援1	3名 (内、緩和型2名)		要介護2	2名
	要支援2	4名 (内、緩和型3名)		要介護3	3名
制度外(実費)利用者	0名	要介護4		0名	
				要介護5	0名
			申請中	0名	

③各月利用者数

令和6年 1月	99名	令和6年 2月	99名
令和6年 3月	99名	令和6年 4月	106名

2) 活動報告

①誕生会(誕生日の一番近いご利用日に実施)

②レクリエーション(季節に合わせたものや、要望に応えたもの)

- ・こま回し ・新年会 ・誕生会 ・すごろくゲーム ・おみくじ引き ・節分豆まき ・バレンタイン
- ・鬼退治ゲーム ・ひな祭り ・花見会 ・誕生会 ・あられすくいゲーム ・芝さくら見学 ポウリングゲーム

3) 日曜デイサービス(月1回、日曜日開催)

開催月	活動内容	参加者数
1月	八重垣神社初詣と中華料理店『桃仙閣』にて夕食	7名
2月	やくもふるさと館にて紙すき体験	6名
3月	大根島・八束千本桜公園花見外出	7名
4月	島根町潜戸観光遊覧船に乗船	6名

4) 防災訓練及び活動

実施日	訓練及び活動の内容	参加者数(内職員)
1/8	地震について	4(2)
2/29	火災について	4(2)
3/6	火災について	5(3)
4/4	地震について	6(3)

5) その他の活動

- ・洗濯物たたみ、歌唱活動、脳トレドリル、塗り絵：(毎日)

2. 相談および苦情受付状況・事故報告（令和6年1月～4月）

1) 相談苦情事例

*この期間での発生また受付はありません。

2) 事故事例

*この期間での発生はありませんでした。

3) ヒヤリハット対象事例

*この期間での発生はありませんでした。

3. 研修会および勉強会

【外部研修】

- 1/17：業務継続計画作成セミナー「策定編」（オンラインセミナー） 参加 1名
- 1/19：業務継続計画作成セミナー「訓練編」（オンラインセミナー） 参加 1名

【内部研修】

実施日	研修会・勉強会内容	参加者
1/21	デイ会議（ケース検討会）	3名
2/25	デイ会議（ケース検討会）	3名
3/17	デイ会議（ケース検討会）	3名
4/14	デイ会議（ケース検討会）	3名
4/26	高齢者虐待防止研修会（全社対象）	6名

【集団指導】

- ①1/30～：令和5年度松江市第3回介護サービス事業者集団指導 [パワーポイント指導]
- ②3/8～：第4回集団指導 [パワーポイント指導]
- ③3/21～：第5回集団指導 [パワーポイント指導]
- ④3/28～：第6回集団指導 [パワーポイント指導]

4. ボランティア、福祉体験等受け入れ状況

*この期間での受け入れはありません。

5. 業務継続計画策定に関わる取組について

1) 策定内容

①感染症に係る業務継続計画

- a 平時からの備え：感染症情報の収集、体制の整備、感染防止に向けた取組、消毒液等の備蓄など
- b 初動対応：感染確認からの対応手順など
- c 感染拡大防止体制の確立：行政等との連携、濃厚接触者への対応、関係事業所との情報共有など

②災害に係る業務継続計画

- a 平常時の対応：建物や設備の安全対策、必要品の備蓄など
- b 緊急時の対応：対応体制など
- c 家族、地域及び関連機関との連携：避難や救助支援の連携体制など

2) 策定委員会の設置

3) 研修について

- 年1回実施：R6.5 開催予定（法人全体）

4) 訓練について

- 年1回実施：R6.5 開催予定（法人全体）

5) 『健笑庵いくま』の取り組み

①利用者や家族との連絡体制の確保

：災害時の連絡手段の一つとしてSNSの活用を提案し、文章にて協力依頼を行う。

6. 高齢者虐待防止の推進に関わる取組について

○虐待防止に関する基本的考え方

当事業所では、高齢者虐待は人権侵害であり、犯罪行為という認識のもと、高齢者虐待防止法の理念に基づき、高齢者の尊厳の保持、人格の尊重を重視し、権利利益の擁護に資することを目的に高齢者虐待の防止とともに高齢者虐待の早期発見・早期対応に努め、「虐待の定義」に該当する行為を行わない。

1) 委員会の設置

2) 社内研修会の開催：年 1 回以上

- ・R6.4.26 第 1 回研修会開催 タイトル「不適切ケアは虐待の始まり」

7. 令和 6 年度介護報酬改定に関わって

1) 地域密着型通所介護基本報酬の改定

・1 回あたり：7 時間以上 8 時間未満の場合

①要介護 1：753 単位 ②要介護 2：890 単位 ③要介護 3：1032 単位

④要介護 4：1172 単位 ⑤要介護 5：1312 単位

2) 取得加算の状況

①入浴介助加算（Ⅱ）：55 単位（変更なし）

- ・算定要件：利用者の居宅における自立した入浴への取り組みを前提とした入浴介助を行う。

②サービス提供体制強化加算（1）：22 単位（変更なし）

- ・算定要件：職員体制の状況（介護福祉士の配置等）

③処遇改善加算Ⅲ：総報酬単位数の 8%

- ・算定要件：資格や勤続年数に応じた昇給の仕組みの整備

8. 報告に対する質問意見及び要望

<意見、要望>

○活動報告に関わって

- ・週 3 回利用しています。色々な方とお話するのが好きなので、デイサービスを利用しています。入浴もできるので助かります。昼食が美味しく毎度楽しみにしています。[利用者]
- ・同居家族は共働きなので日中ひとりになります。ひとりだと昼食も食べなかつたりするので不安です。デイに行ってくれる日は安心です。[利用者家族]
- ・自宅では声掛けしても入浴してくれないので困っていましたが、デイ利用をきっかけに見守りで入浴させてもらっています。身体状況もみてもらえて安心しています。[利用者家族]
- ・四季の行事を取り入れ色々工夫されて活動されていると感じます。[地域代表者]
- ・レクリエーションや歌唱や脳トレなど皆さんと賑やかに過ごしている。花見等の外出する事が楽しみなので、また連れて行って欲しい。[利用者]
- ・色々な場所に外出の企画をされていますね。ニーズが合う際には利用者及び利用者家族に日曜デイの事を含め『健笑庵いくま』を勧めてみようと思う。[包括支援センター]
- ・引きこもり気味で心配していたがデイ利用するようになってから意識に変化があった。最近は喜んで通っている。元々、外出する事が好きなので、日曜デイにも毎回、参加させてもらっている。気分転換になると思います。[利用者家族]
- ・業務継続計画の策定で災害が発生した場合と感染による場合があるが、災害時の場合、災害の規模によっても対応内容が違うと思うので策定が難しいと思う。[利用者家族]
- ・自宅での場合と施設の場合とで策定内容が違い、事業所に合う業務継続計画の策定が難しい。[知見者]
- ・事業所として業務継続計画の策定で策定委員会の設置や研修、利用者及び家族との連絡体制の確保を SNS 活用され取り組んでおられて良いと思います。[包括支援センター]
- ・以前、担当した前任者のコメントからだが、利用者介護サービスを提案するがコロナウイルス感染するのが怖いので外出するのをためらう方が多く、なかなかサービスに繋がらなかった。また、CM の数が減り人手不足の現状があるが、利用者及び家族からの相談の際には、利用者のケースをもう少し掘り下げニーズをキャッチしていかないとサービスに繋がらないと感じた。[包括支援センター]

<質問>

- ・Q：新型コロナウイルスが 5 類に移行されたが、デイサービス施設の考え方の変更はあるか？今後、本人や同居家族がコロナ感染した場合はどうすればいいのか？[利用者家族]

A：基本的な感染予防対策としては大きな変更はありません。引き続き、ご家族様との連携において事前の対応に心がけています。

• Q：今後、コロナワクチン接種が有料だが、利用者に接種を求めるのか？[地域代表者]

A：利用者様及び利用者家族様のご判断にお任せしています。

• Q：避難訓練を定期的にされているようだが、どのような内容ですか？[利用者家族]

A：主に自宅で生活する上で火災や地震時の避難方法を想定して防災訓練の勉強会の場として取り組んでいます。デイサービス利用時の防災訓練としては避難時の注意事項、避難経路の確認、勤務職員の避難誘導時の役割確認を行っています。また、近年多発している特殊詐欺等に対してお話をし注意喚起を行っています。

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
<input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○